

のりものバリアフリー 福祉車両・UDタクシー

車いすに対応した介助用自動車

高齢者や体の不自由な人をささえるための特別な機能をもった自動車を「福祉車両」といいます。車いすのまま乗りこめる介助用のものや、車いす使用者が自分で運転するための装置をとりつけたものなど、目的に応じた車両があります。車いす使用者や高齢者のなかには、自分の力で座席にすわることでできない人も少なくありません。そういった人が

助手席が回転しながら上下する自動車

スイッチをおすと助手席が回転し、車両の外へと下降移動して、車いすから移乗しやすい高さでとまる。移乗したら、回転しながら、もとの助手席の位置までもどる。



回転しながら上下する。

本田技研工業

車いすは後部につきこむ。

車いすで乗りこめる自動車

車体後部にスロープが装備されている。ベルトを車いすにとりつければ、電動でベルトをまきあげて、車いすを車内へひきあげてくれる。



本田技研工業

スロープ

自動車に乗るには、乗り降りをサポートする機能をそなえた自動車が役立ちます。

たとえば、座席がリフトのように動く昇降機能があれば、車いすから座席への移乗が安全にできます。また、車高が高く、後部にスロープが装備されている自動車であれば、車いすのまま乗車できます。

こうした機能は、車いす使用者にとって便利であるだけでなく、介助する人の負担を軽減することにも役立っています。



障害者用駐車スペース 車いす使用者が自動車で乗り降りしやすいように、幅が広がっている。

手動で加速・減速できる運転補助装置

足が不自由な人であっても、道路交通法のさだめる条件をみたしていれば、自動車の運転免許を取得することができます。

運転するとき、足を使ったアクセル（加速装置）やブレーキ（減速装置）の操作がむ



ミクニライフ&オート

ずかしい場合は、手で操作できる運転補助装置をとりつける方法があります。この装置を自動車に装備すれば、コントロールグリップをにぎった左手で、アクセルとブレーキの操作が可能になります。

運転補助装置には、手を使わず、両足だけで操作できるものもあります。

運転補助装置をとりつけた運転席。右手でにぎった「ハンドル旋回ノブ」をまわすことで、ハンドルの操作ができる。左手でにぎった「コントロールグリップ」を手前にひくと加速し、前方へおすと減速する。



駐車ブレーキ手押しレバー
ミクニライフ&オート
駐車ブレーキペダルにとりつけた「駐車ブレーキ手押しレバー」によって、手で駐車ブレーキをかけることができる。

だれでも利用しやすい「UDタクシー」

体の不自由な人や高齢者などを支援するタクシーは、UDタクシーや福祉タクシーなどとよばれています。UDタクシーの「UD」とは、ユニバーサルデザイン（p.47）を省略した言葉です。だれもが利用しやすいタクシーという意味で使われます。

川崎タクシー



UDタクシー 一般のタクシー料金と同額で、車いすやベビーカー、大きな荷物をつみこむことができます。



川崎タクシー

スロープ

車両の後部からひきだしたスロープによって、車いすに乗ったまま乗車できるUDタクシーの例。ベビーカーも折りたたみずらに車内に収納できる。